

第5回朱鷺メッセ連絡デッキ落下事故調査委員会要旨

開催日時 平成15年10月5日(日) 13:00~17:30

出席者

委員 丸山委員長、上之蘭委員、清宮委員、長井委員、森谷委員

事務局 港湾空港局長、事故調査班、振興課長、万代島再開発室長ほか

(株)長大

1 内容

- (1) 現場調査結果の追加・修正について
- (2) 業者への追加質問に対する回答について
- (3) 構造解析について
- (4) アトリウム前・入江側連絡デッキの調査結果について
- (5) 定着部の補強方法について
- (6) アトリウム前・入江側連絡デッキ支保工補強について

2 質疑

委員長 一応9月末に中間の経過報告というものを出し、おおよその崩壊のメカニズムと
いうものを想定した。それについて、今回以降解析的に、ちゃんとそれが正しいか
どうか確認しながら、事故の原因の核心に迫っていきたい。

事務局 部材試験等及び部材現況報告書追加修正について説明。

委員 差し金の跡が残っているというのが分からなかったのか。

事務局 まだ、詳細な整理はしていない。

事務局 新潟県建築設計協同組合の追加質問項目に対する回答を説明。

委員 54NにPC製作者が設定するのは、多分脱型強度から決めたと思われる。

事務局 落下時の部材状況図を説明。

長大 構造解析について説明。

委員長 解析の中間報告は、まだチェックすることはあるのかなと思う。次にいく前にこ
の委員会は、できるだけオープンでやっていた方がいいかと思う。委員会に対する
資料提供に対しては、委員会として検討して、使えるものは使っていくこととした。
第一建設が定着部の実験をして、定着部のデータを提供すると言っている。

委員 今の実験は第三者に出して行ったものか、自分の会社の中で行ったものか。

委員長 第三者です。

委員長 詳細なデータを提出してもらい、検討の参考にすることとする。

委員長 解析に関して、次回までにどう進めるか。

長大 床版の耐力を、例えば3分の1とか10分の1に落として解析する。

長大 アトリウム前・入江側連絡デッキの目視調査について説明。

委員 クラックの幅が書いていないのは。

長大 幅については、きちんと測定できなかった所は、記入していない。そこは0.03あ
るいは0.05から0.1ぐらいの幅。次に、入江側のデッキのクラックの状況について、
クラックをチョークで書き込んだものを写真に撮った。

長大 RCレーダーを使い、定着部のコの字型の鉄筋の位置の確認を行った。結果とし

て、この辺がコの字型鉄筋の可能性があるというぐらいしか判断できないという状況。コの字型鉄筋以外の鋼材についても反応しているので、識別が非常に困難であるという状況。

委員 定量的にいくつだというのは、分らないことが分かった。

長大 斜材張力について報告。大まかに設計張力よりも多く入っているところが多いということが言える。

委員 実際に現場に残っている斜材で張力を調べられるか。

委員 だいたいみんな高めに出ているが、何の影響なのかということキャンセルするためには、実際に現地で測った張力と設計張力を比較した方が良い。

長大 定着部の補強について説明。

事務局 アトリウム前・入江側連絡デッキの支保工補強について説明する。設置箇所については、アトリウム前が2箇所、入江側が1箇所。それぞれ径間の中央付近に設置した。

委員 支えている点は、ちょうど柱の真下ではないのか。

事務局 できるところはそうしてあるが、入江側の方は柱の真下付近に設置した。

事務局 次回は、10月25日。